Ⅰ　御津小学校 校章・校訓・校歌

［校　章］

制定年度　不明
「ツ」を図案化したものを３つ組み合わせることにより、「ミツ」を表している。さらに、小学校の「小」をその中に配した。

［校　訓］

「なかよく」……人格を尊重し合い、思いやりの心と判断力をもった心豊かな子　【徳育】

「げんきよく」……命を大切にし、心身を鍛え、自主的・自律的に行動する子　【体育】

「せいいっぱい」……探求心が旺盛で、向上心をもって粘り強く主体的に学ぶ子　【知育】

［校　歌］

御津小学校校歌

竹中　郁　作詞
川澄　健一　作曲

一
海から生まれた　朝の風
山から生まれた　昼の風
のびよのびよと　日に光る
われらのぐるり　とりまいて
きらめく声は　あたたかい

二
窓から窓へと　とどく手は
家から家へと　とどく手は
つなげつなげと　しめしあう
われらたがいに　むすびあい
つたわる流れ　あたたかい

三
はるかな空から　まねいてる
とおくの星から　よんでいる
たてよたてよと　こだまする
われらは向かう　ひとすじに
ゆくての道は　あたたかい

校歌がになう使命は大きい。学校の象徴であり魂であるだけでなく、全校児童に愛唱され心に残るものでなければならない。校歌を歌うたびに、愛校心がわき愛郷心を覚える。そんな願いを込めて、昭和３３年の学校創立８０周年記念事業の一つとして作られた。作詞の竹中郁氏は関西では著名な詩人である。この作詞のために御津町に来町され、地形・風俗・習慣などをつぶさに観察して作詞された。作曲の川澄健一氏は大学教授の職のかたわら、各種音楽コンクールの審査員なども務められている。歌いやすい校歌をというのが先生の念願であるが、全くその願いにぴったりの曲となっている。